

様式 4

<p>令和 2 年度（第 8 回）</p> <p>富士見市総合計画審議会</p> <p>議事録</p>						
日 時	令和 2 年 7 月 2 1 日（火）		開会	午後 7 時 0 0 分		
			閉会	午後 9 時 0 0 分		
場 所	市民総合体育館 3 階多目的ホール					
出席者	委 員	今井会長	三上副会長	小寺委員	小林委員	寺田委員
		○	○	○	○	○
		中委員	仲田委員	山本委員	横山委員	吉原委員
		○	○	○	○	×
		渡辺委員				
	○					
事務局	総合政策部 水口部長 政策企画課 濱島課長、斎藤副課長、甲佐主査					
公開・非公開	公開（傍聴者 0 名）					
議 題	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 審議事項</p> <p>①総合計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野 30「総合行政」について ・基本計画素案について <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>					

議 事 内 容

1 開会 政策企画課長

2 あいさつ 会長

3 審議事項

会長：次第の3審議事項「①基本計画について 分野30 総合行政について」、事務局より説明をお願いします。

事務局：(資料1に基づき説明。約5分)

(質疑なし)

会長：次に「総合計画素案について」を議題とします。分野ごとに事務局からの説明及び質疑を行う形で進めます。

分野1 危機管理について

委員：3日分の食料を4人家族で用意することは大変であると感じる。

委員：防災リーダーが私の町会では、班長さんが受講していると思うが、継続的な活動はしているのか。

委員：私の町会では、継続的に活動をしている。町会により異なると思う。

分野2 防犯・交通安全

委員：地域団体主催の交通安全教室とはどのような団体が行っているのか。

委員：青少年育成会やまちづくり協議会などで実施していると思う。

分野3 人権・男女共同

委員：男女共同参画とあるが、この表現自体が差別的な印象を受ける。

事務局：一般的に使われており、読みやすさの観点からもこのような表記となると思う。

委員：男女共同参画のセミナー等の参加状況はどうか。

事務局：講演される方により、定員を超える申し込みとなることもある。

委員長：KPIの人権の大切さを認識している割合は100%を目指すべきではないか。

事務局：目指すべきは100%であるが、実績などを鑑み設定している。

分野4 市民相談・消費生活

委員：相談窓口の認知度とは市の相談窓口ということか。

事務局：県なども含め、困ったときの相談先を知っているということと捉えている。

分野5：多文化共生・国際交流

委員：外国籍市民との交流に関しては、市民レベルでのコミュニケーションを増やしていく必要があると感じる。

委員：ゴミ出しや夜中の騒音などの問題が地域では生じている。

委員：みんなで協力して何回か丁寧に説明して理解してもらうことが必要。

委員：国際交流フォーラムの参加者や回数を増やして、交流機会をもっと増やすべきではないか。

事務局：交流機会の増については、所管課へ意見として伝える。

分野6 子ども・子育て支援

委員：児童扶養手当の支給者は全体でどのくらいいるのか。

事務局：※後日確認 R1では612名

委員：共働きが増えてきているため、病児や病後児保育を増やしていく必要があると考える。

事務局：ロジックモデルには記載がある。本文掲載については検討する。

分野7 子ども・若者支援

委員：KPIとして若者の学び直し相談件数が増えることは良いことなのか。

事務局：学び直しについては、動き始めてすぐの事業であり、潜在的に相談できていない人がおり、その方たちを掘り起こし、相談を増やすことを目標としている。将来的には、その方々が相談しないで済むような環境を目指していきたいと考える。

委員：若者の居場所支援とはどのようなところがあるのか。

事務局：昨年度セミナーを講習した方で結成された団体が今年8月に活動を開始する予定である。

分野8 地域福祉

委員：避難行動要支援者であるが、申請すると必ず助けてくれると思う方がいる。基本は自助であることを認識してもらう必要がある。

分野9 障がい福祉

委員：福祉全般に関わることだが、ここにいけば何でも相談できる枠にはめない総合的な窓口があるといい。

事務局：現在もたらひ回しとならないように、総合的窓口の設置などに取り組んでいる。相談についても人権・市民相談課において振り分けを行っているが、周知が進んでおらず、今後、周知について努力が必要と考えている。

分野10 高齢者福祉

委員：健康寿命とはどういったものか。

事務局：65歳から健康でいられる（要介護1以下）期間である。

※注釈を本文に記載する。

分野11 健康づくり

委員：自殺者数のKSFはH27と現状値が低いけど最新値はないのか。

事務局：確認する。※R1 の現状値 16 名を確認 数値を変更する。

分野 12 スポーツ

委員：スポーツのつながりとして、昔実施していた福祉スポーツ大会などは復活させないのか。

事務局：確認する。

※福祉課に確認したところ、現在は一人ひとりの活動推進（健康マイレージやヘルシーウォークなど）を進めており、現時点での開催予定はないとのこと。

4 その他

- ・次回以降日程の確認 7/28（火）、8/20（木）

6 閉会 政策企画課長